

EU Indicators

欧州経済指標コメント：8月ドイツ製造業受注

発表日：2015年10月6日(火)

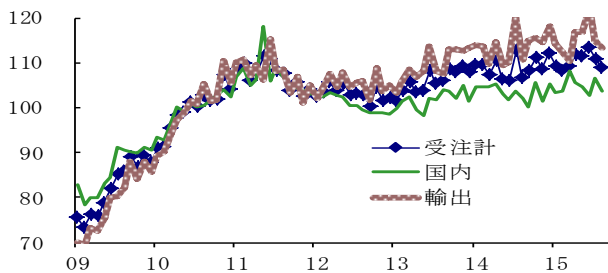
～ドイツ独り勝ちに暗雲～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

- 8月のドイツの製造業受注は前月比▲1.8%と2ヵ月連続で減少した。夏季休暇時期の関係で下振れした面もある模様だが、前月値の下方修正（改定前：同▲1.4%→改定後：同▲2.2%）と相俟って、受注に急ブレーキが掛かっている印象は否めない。9月値が横這いとどまれば、7-9月期の受注は前期比▲2.3%。7-9月期が落ち込みを回避するには、9月値が前月比+7.1%以上の大幅な伸びが必要。
- 内外受注の内訳は、国内受注（前月：同+3.7%→今月：同▲2.6%）が前月急伸の反動で大きく落ち込んだほか、輸出受注（同▲6.1%→同▲1.2%）が2ヵ月連続で減少。輸出受注の内訳は、ユーロ圏向け（同+0.6%→同+2.5%）が3ヶ月連続で堅調な増勢を維持した一方、非ユーロ圏向け（同▲10.1%→同▲3.7%）の落ち込みが目立つ。非ユーロ圏向けの財種別内訳は、資本財（同▲13.5%→同▲4.3%）、中間財（同▲1.3%→同▲2.6%）、消費財（同▲1.3%→同▲2.4%）が揃って続落。輸出受注（ユーロ圏・非ユーロ圏の両方を含む）の業種別内訳は、輸送機械（同▲11.3%→同▲9.6%）、金属（同▲10.7%→同▲4.2%）、電気機器（同+0.1%→同▲3.8%）の落ち込みが目立つ。
- これまでドイツの景気指標は比較的底堅く推移してきたが、今回の非ユーロ圏向け輸出受注の明確な落ち込みで、ドイツが新興国景気減速の影響を免れないことを再確認。春以降の緩やかなユーロ高基調も域外向け輸出の下押し要因となっている。夏場以降に一段と強まっている世界景気の減速懸念や大手自動車会社の排ガス不正問題の影響は、今後ドイツの経済指標にさらに顕在化しよう。

■ドイツ：製造業新規受注（季調値）

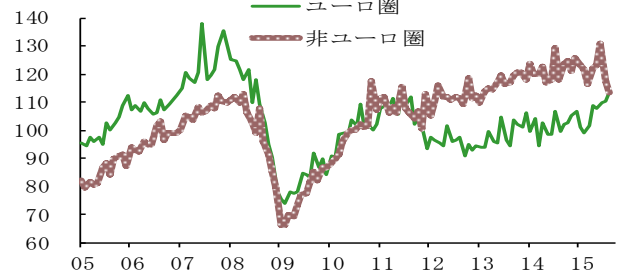
(2005=100)



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツ：製造業輸出受注（季調値）

(2005=100)



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツの製造業受注（季節調整値、実質、前期<月>比、%）

	2014		2015		2015							
	3Q	4Q	1Q	2Q	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
製造業受注計	1.4	1.3	-1.5	3.0	-2.6	-0.9	1.0	2.2	-0.4	1.9	-2.2	-1.8
資本財	1.9	1.2	-1.7	4.4	-3.0	-1.4	1.4	3.5	-1.2	3.6	-2.5	-2.8
資本財（除くその他輸送機械）	1.9	2.8	-1.8	4.2	-0.5	-1.6	-3.1	5.7	2.5	-1.2	-1.1	-4.4
中間財	-0.6	1.5	-1.5	0.7	-2.5	-0.8	1.0	-0.3	1.1	-0.5	-1.4	-0.4
消費財	-1.0	0.9	0.7	3.2	0.4	2.9	-1.9	3.8	0.2	-1.0	-2.8	-1.5
耐久消費財	-3.0	2.5	1.7	-1.1	-1.0	0.3	-2.6	0.5	1.1	-2.0	6.3	0.4
非耐久消費財	-0.3	0.4	0.3	4.6	0.8	3.7	-1.7	4.9	-0.2	-0.6	-5.6	-2.0
国内受注計	-1.4	2.1	1.0	-0.6	-1.6	0.1	4.4	-2.3	-0.9	-1.9	3.7	-2.6
輸出受注計	3.5	0.8	-3.2	5.7	-3.3	-1.7	-1.5	5.7	0.1	4.5	-6.1	-1.2

出所：ドイツ連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。